

第2次能代山本定住自立圏共生ビジョン

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和7年1月

目 次

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療	1
【基本目標】病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持	
ア 地域医療体制の充実・強化	
【KPI】病院群輪番制参加病院数	
【KPI】在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数（在宅当番）	
【KPI】在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数（小児救急）	
イ 医療従事者の確保対策	
【KPI】医師数	
【KPI】看護師数	
ウ 健康寿命の延伸対策	
【KPI】大腸がん検診受診率	
②福祉	3
【基本目標】利用しやすい福祉サービスの提供と充実	
ア 子育て支援の充実	
【KPI】出生数	
イ 高齢者福祉の充実	
【KPI】要介護（要支援）認定率	
③教育	4
【基本目標】文化会館及び図書館の維持	
ア 学校教育の充実	
【KPI】圏域内居住による奨学金の返還支援件数	
イ 生涯学習機会の充実	
【KPI】社会教育施設（図書館・スポーツ施設除く）利用者数	
【KPI】図書館利用者数	
④産業振興	5
【基本目標】人口1人あたりの住民所得の向上	
ア 広域観光の推進	
【KPI】延べ宿泊者数	
イ 地域資源を活用した経済の活性化	
【KPI】行祭事・イベント入込客数	
ウ 企業誘致等による雇用機会の確保	
【KPI】新規高卒者の圏域内への就職割合	
エ 農林水産業の担い手育成	
【KPI】新規就農者数（5か年累計）	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通	7
【基本目標】公共交通カバーエリアの維持	
ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進	
【KPI】路線バス等の輸送人員	
【KPI】大館能代空港総利用者数	
②道路等の交通インフラの整備	8
【基本目標】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	
ア 道路等の維持管理の連携	
【KPI】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	

③地域内外の住民との交流・移住促進	9
【基本目標】人口の社会増減数の減少幅の抑制	
ア 移住定住の促進	
【KPI】市町への相談を経た移住世帯数（5か年累計）	
イ 婚活支援事業の充実	
【KPI】婚姻数	
ウ 情報発信の強化	
【KPI】市町ホームページアクセス数	
④その他	10
ア 松枯れ被害の対策	
【KPI】民有林における松くい虫被害量	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①圏域内市町の職員等の交流	11
【基本目標】能代山本定住自立圏構想検討会の開催	
ア 圏域市町職員の交流・合同研修	
【KPI】定住自立圏研修等の実施	

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況集計表

○令和5年度

基本目標	合計	順 調 (^_^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	未確定	実績不明
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	7	0	8	2	0
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	0	3	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	14	0	11	2	0

○令和4年度

基本目標	合計	順 調 (^_^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	未確定	実績不明
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	7	1	6	3	0
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	1	2	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	14	2	8	3	0

【評価区分等の説明】

- 順 調…目標値または当該年度の仮の目標値(以下「目標値等」という。)に達している。
- 横ばい…目標値等との間に隔たりはないものの、目標値等に達しておらず、基準値と大差ない。
- 不 調…目標値等に達しておらず、目標値等との間に隔りがある。
- 未確定…国や県の統計等の公表時期が未到来のため、相当な期間分の数値が確定できない。
- 実績不明…国県の統計等の集計対象が変更等となり、基準値と比較できる実績値がわからない。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

基本目標	(1) 病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	0	0	0			1	—
								推移の分析・考えられる要因 在宅当番に対応している医療機関が、医師の高齢化により年々減少している。	達成状況 不調 (>_<)

※1=維持

ア 地域医療体制の充実・強化

【具体的な事業】救急医療等支援事業

KPI	(2) 病院群輪番制参加病院数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	3	3	3	3	3			3	施設
								推移の分析・考えられる要因 医療機関への支援等を通じて、圏域の医療体制の安定化が図られている。	達成状況 順調 (^-^)

KPI	(3) 在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(在宅当番)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	35	35	31	30	26			35	施設
								推移の分析・考えられる要因 医師の高齢化等により、対応できる医療機関が減少している。	達成状況 不調 (>_<)

KPI	(4) 在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(小児救急)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	4	4	4	4	4			4	施設
								推移の分析・考えられる要因 医療機関への支援等を通じて、圏域の医療体制の安定化が図られている。	達成状況 順調 (^-^)

イ 医療従事者の確保対策

【具体的な事業】産科医等確保支援事業、看護師確保支援事業

KPI	(5) 医師数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成29年	106.6	113.6						106.0	人
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、3年ごとの調査であるため、4年度の結果は公表されない。 ※次回調査は令和5年度、公表は令和7年4月。</p>	達成状況
								未確定	

KPI	(6) 看護師数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成29年	560.0	577.9						560.0	人
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、3年ごとの調査であるため、4年度の結果は公表されない。 ※次回調査は令和5年度、公表は令和7年4月。</p>	達成状況
								未確定	

ウ 健康寿命の延伸対策

【具体的な事業】健康づくり推進事業、がん対策事業、带状疱疹予防接種費用助成事業

KPI	(7) 大腸がん検診受診率								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成30年	14.1	11.9	12.4	11.7				33.0	%
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えが影響していると考えられる。 ※公表は令和4年度分まで</p>	達成状況
								不調 (>_<)	

②福祉

基本目標	(8) 利用しやすい福祉サービスの提供と充実								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								-	-

ア 子育て支援の充実

【具体的な事業】福祉医療事業、母子保健事業、病児保育事業、子育て支援センター事業

KPI	(9) 出生数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	293	294	271	232	188			290	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								各市町とも人口減の影響が大きく、引き続き減となっている。	不調 (>_<)

イ 高齢者福祉の充実

【具体的な事業】緊急通報システム事業、生活管理指導短期宿泊事業

KPI	(10) 要介護(要支援)認定率								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	21.7	21.9	21.4	20.5	20.6			21.0	%
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								前年度と比較し認定率がわずかに増となっているが、減少傾向で推移している。介護サービスが必要になった時に申請されるよう介護申請の適正化を図っていることや、介護予防事業への取組が寄与していると考えられる。	順調 (^-^)

③教育

基本目標	(11)文化会館及び図書館の維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	1	1	1			1	—
								達成状況	順調 (^~^)
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>工夫をしながら利用しやすい運営及び適切な管理運営に努めている。</p>									

※1=維持

ア 学校教育の充実

【具体的な事業】ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

KPI	(12)圏域内居住による奨学金の返還支援件数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	32	34	36	41	48			60	件
								達成状況	順調 (^~^)
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>返還支援者の割合は返還者全体の3割強で、微増となっており、返還支援件数は年々増加傾向にある。今後も定住促進に向けて制度の周知を行っていく。</p>									

イ 生涯学習機会の充実

【具体的な事業】文化会館・図書館管理運営事業、生涯学習推進事業

KPI	(13)社会教育施設(図書館・スポーツ施設除く)利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	436,243	256,002	477,540	449,443	390,124			450,000	人
								達成状況	不調 (>_<)
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>令和3年度までの新型コロナウイルスワクチン接種会場や待機所としての役割が終了したことにより令和4年度以降の利用者の減となった。また、制限緩和により利用者数の増はあるものの、自主学习グループの解散や高齢化による利用減により、全体としては減少傾向が続いている。</p>									

KPI	(14)図書館利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	127,198	98,370	100,007	96,350	100,954			115,000	人
								達成状況	不調 (>_<)
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>コロナ禍からの制限緩和に伴い、各種講座の再開され利用者数が増加したものの、コロナ禍以前の利用状況までの回復には至っていない。</p>									

④産業振興

基本目標	(15)人口1人あたりの住民所得の向上								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	2,542	2,397	2,447					-	千円/人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								秋田県市町村民経済計算年報に基づく数値であるが、3年ごとに2年分の公表となるため、R6.12.9時点で公表は令和3年度まで。	-

ア 広域観光の推進

【具体的な事業】広域観光推進事業

KPI	(16)延べ宿泊者数								
基準年	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	189,196	135,151	177,195	177,364	188,460			195,000	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								前年と比較し、八峰町で減であったが、これは令和5年7月大雨での崩落等により登山コース等の安全確保ができない状態となり、登山客需要の減によるもの。全体としては引続き増加傾向にある。	順調 (^_^)

イ 地域資源を活用した経済の活性化

【具体的な事業】スポーツ文化合宿誘致事業、地域活性化イベント支援事業、特産品販路拡大事業

KPI	(17)行祭事・イベント入込客数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	662,881	22,490	421,270	303,632	357,589			660,000	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、観光客が増加したため、入込客数は概ね増加しているが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。	不調 (>_<)

ウ 企業誘致等による雇用機会の確保

【具体的な事業】企業誘致活動、地域雇用対策事業、地域企業働き手確保支援事業

KPI	(18)新規高卒者の圏域内への就職割合								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	42.5	55.6	54.7	52.9	45.0			50.0	%
					<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>低下傾向が続いており、要因としては、全国的な働き手不足により、首都圏等の給料や福利厚生が手厚くなっていることが挙げられる。加えて、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、県外志向が高まっていることも要因のひとつと考えられる。</p>			達成状況	
									不調 (>_<)

エ 農林水産業の担い手育成

【具体的な事業】就農支援事業、農業人材育成事業

KPI	(19)新規就農者数(目標値:5か年累計)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	16	35	31	47	38			100	人
					<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>増加傾向が続いており、農業経営の法人化に伴い雇用就農が増加したことや、「雇用就農資金」、「経営開始資金」といった国の就農支援制度の活用等により、非農家や新たな作目で就農しようという意欲ある農業者が増加したことが要因と考えられ</p>			達成状況	
									順調 (^-^)

※目標値は令和3～7年度累計

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

基本目標	(20) 公共交通カバーエリアの維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	1	1	1			1	—
								推移の分析・考えられる要因 各市町において交通空白地域解消のため、巡回バスや予約制乗合タクシーを運行している。路線バスの廃止や統合により、バス停留所は減少したが、巡回バスや予約制乗合タクシーを運行し、乗降場所をきめ細やかに設置することで、カバーエリアの拡大を図った。	達成状況 順調 (^-^)

※1=維持

ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進

【具体的な事業】生活バス路線等維持対策事業、路線バス等利用促進事業、大館能代空港利用促進事業

KPI	(21) 路線バス等の輸送人員								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	340,207	309,303	295,715	319,252	315,922			340,000	人
								推移の分析・考えられる要因 地域の人口減少により、路線バスの利用者は減少傾向にあり、今後もこの傾向は継続していくものと思われる。	達成状況 不調 (>_<)

KPI	(22) 大館能代空港総利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	148,761	24,170	45,346	145,617	173,057			150,000	人
								推移の分析・考えられる要因 令和4年7月より東京羽田線の3往復化が開始したことや、旅行需要の回復によるものと考えられる。	達成状況 順調 (^-^)

②道路等の交通インフラの整備

基本目標	(23)道路及び道路構造物の効率的な維持管理								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	1	1	1			1	—
<p>1 0 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								<p>各市町において事業を実施している。除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検および工事を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。</p>	順調 (^-^)

※1=維持

ア 道路等の維持管理の連携

【具体的な事業】道路等の維持管理

KPI	(24)道路及び道路構造物の効率的な維持管理(再掲)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	1	1	1			1	—
<p>1 0 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								<p>各市町において事業を実施している。除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検および工事を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。</p>	順調 (^-^)

※1=維持

③地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標	(25)人口の社会増減数の減少幅の抑制								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	▲ 444	▲ 499	▲ 393	▲ 258	▲ 235			-	人
					推移の分析・考えられる要因 依然として、若者の進学や就職等に伴う社会減の状態が続いているが、地方移住やふるさと回帰への関心が高まっていることから、社会減が減少傾向にあるものと考えられる。			達成状況	-

参考値：人口の社会増減数

ア 移住定住の促進

【具体的な事業】空き家活用事業、移住定住促進事業、移住支援金

KPI	(26)市町への相談を経た移住世帯数(目標値:5か年累計)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	32	29	35	69	75			300	世帯
					推移の分析・考えられる要因 引続き増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中でもSNS等を活用した移住相談や情報発信、帰省時期に合わせた能代山本4市町合同での移住相談会の実施などが功を奏したものと考えられる。			達成状況	順調 (~^~)

※目標値は令和3~7年度累計

イ 婚活支援事業の充実

【具体的な事業】出会い創出事業、あきた結婚支援センター会員登録助成事業

KPI	(27)婚姻数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	213	148	159	154	138			220	件
					推移の分析・考えられる要因 新婚夫婦に対する経済的支援により、一定の効果があつたものと考えられるが、目標値には届いていない。コロナ禍で結婚を先送りしていた方々の婚姻により、能代市は増となったが全体としては減少傾向にある。			達成状況	不調 (>_<)

ウ 情報発信の強化

【具体的な事業】圏域情報発信事業

KPI	(28)市町ホームページアクセス数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	1,258,173	1,622,204	1,363,314	1,715,676	1,398,913			1,600,000	件
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								前年と比較して全体的に減に転じている。要因として、令和4年度においてはコロナ感染症対策や能代松陽高校硬式野球部による春夏の甲子園出場等によりアクセス数が増となったが、令和5年度は7月の大雨や、クマ出没関連でのアクセスが多かったものの前年と比べると少ないものであった。	不調 (>_<)

④その他

ア 松枯れ被害の対策

【具体的な事業】松くい虫対策事業

KPI	(29)民有林における松くい虫被害量								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	3,995	2,583	1,747	2,646	2,081			4,000	m ³
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								能代山本管内では平成29年度から被害量は減少していたものの、令和4年度は全県で被害が増加に転じている。令和5年度も全県では被害が増加しているものの、能代山本管内の被害量は減少した。今後も被害状況を注視しつつ、国・県と連携して対策を講じていく。	順調 (^-^)

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 圏域内市町の職員等の交流

基本目標	(30) 能代山本定住自立圏構想検討会の開催								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1	1	1	1			1	—
<p>A progress chart with a vertical axis from 0 to 1 and a horizontal axis with points for 基準値, R2, R3, R4, R5, R6, and R7. A horizontal line is drawn at the value 1, with solid black squares at each point from 基準値 to R5, and a solid black circle at R7. A dashed line connects the squares to the circle.</p>					推移の分析・考えられる要因 1回以上の開催で「1」としている。 令和5年度は検討会を2回実施し、新たな連携事業等の検討を行っている。			達成状況	
									順調 (^-^)

※1=維持

ア 圏域市町職員の交流・合同研修

【具体的な事業】広域連携職員研修

KPI	(31) 定住自立圏研修等の実施								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	1	1	1	1	1			1	件
<p>A progress chart with a vertical axis from 0 to 1 and a horizontal axis with points for 基準値, R2, R3, R4, R5, R6, and R7. A horizontal line is drawn at the value 1, with solid black squares at each point from 基準値 to R5, and a solid black circle at R7. A dashed line connects the squares to the circle.</p>					推移の分析・考えられる要因 検討会メンバーによる先進地視察として、令和5年度は北海道の東胆振定住自立圏(中心市: 苫小牧市)を訪問し意見交換等を行った。また定住自立圏構想推進セミナーin北海道に参加し、各定住自立圏の事例取組について研究した。			達成状況	
									順調 (^-^)